

平成28年度
(平成25～28年度の4年間)

運営に関する計画

(自己評価書)

中間評価

職員会議 H28.11.14
一部修正 H28.11.18
学校協議会 H28.11.24

大阪市立長吉六反中学校

平成28年度 大阪市立長吉六反中学校 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1. 学校運営の中期目標(平成25~28年度)4年間

学校教育目標

- 《人間尊重の精神を基盤とし、「生きる力」をはぐくむ創意工夫を生かした教育活動を推進する。》
- 基礎的・基本的な知識や技能を習得させ、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養う。
 - 積極的に生徒理解に努め、自主的、自律的な生活習慣や態度を育成する。
 - 互いにちがいを認め合い、個性を尊重し、協力する集団を育てる。
 - 自らの健康や体力に关心をもたせる。また、自他の生命を尊重し、他人を思いやる心を育てる。
 - 教育目標、めざす子ども像を小中で共有し、小中連携による教育活動を推進する。

小中共通目標:「自ら学び自ら考える力をのばす」

現状と課題

- (前年度総括) 視点【学力の向上】・【健康・体力の保持増進】について、年度目標を下回った。【道徳心・社会性の育成】・【保護者・地域に開かれた学校づくり】について、年度目標をおおむね達成できた。
【学力の向上】では、指標としたアンケート結果では目標を下回ったが、目標達成のためのそれぞれの取組みにおいては、目標をおおむね達成できており、その成果はチャレンジテスト等の結果等にも表れつつある。
【道徳心・社会性の育成】では、「自分には良いところがある」と回答する割合が9ポイント上がっており、自校肯定感向上の取組みの成果がでた。【健康・体力の保持増進】では、「運動をすることが好きだ」「朝食を食べることは大切」と回答する生徒の割合が年度当初より下がるなど課題が残っている。

○H27全国学力・学習状況調査における正答率が国語、数学のいずれもの領域において、全国平均・大阪市平均より大きいものでは10ポイント以上下回っている。問題の意味を理解し、考えて解答するための読解力・思考力・表現力を身に付けさせる必要がある。(ただし、この結果はH26の取組みによるもので、H27の取組みの成果はH28の結果を待たねばならない)

○全国学力・学習状況調査の結果から、「授業の内容がよく分かる」と肯定的にとらえている割合が、全国平均・大阪府平均より、国語で約20ポイント、数学で約10ポイント下回っている。生徒にとって分かりやすい授業となるよう、授業改善に取り組む必要がある。(ただし、この結果はH26の取組みによるもので、H27の取組みの成果はH28の結果を待たねばならない)

○宿題の提出率が低いなど家庭学習の習慣が定着していない生徒が多い。自ら意欲的に学習に取り組む姿勢づくりをする必要がある。(H27全国学習状況調査の結果にも顕著に表れている)

○おおむね落ち着いた環境で学習できているが、一部に落ち着きのない学習状態なっている現状がある。学力向上を図るためにには、まず、落ち着いた学習環境の維持が必要である。そのため、きまり・規則を守る態度育成のため、生活指導体制をより強化する必要がある。

○全国学力・学習状況調査の結果から、「授業のはじめに、目標が示されている」と肯定的に回答した生徒の割合が、全国平均より約35ポイント、大阪府平均より約25ポイント下回っている。授業の進め方について、全教員で基本的なところから再点検をする必要がある。(ただし、この結果はH26の取組みによるもので、H27の取組みの成果はH28の結果を待たねばならない)

○系統立てた人権教育の推進を図っているが、生徒の人権感覚にはまだ不十分な点がある。今以上に、人権教育に重点をおいた教育活動の推進が必要である。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果において、多くの領域の平均値が全国平均、大阪府平均より下回っている。このため、日頃から、運動に親しむ習慣がつくような取り組みを推進する必要がある。

○全国学習状況調査の結果において、朝食をとっていない生徒の割合が全国平均より約20ポイント下回っている。基本的生活習慣の基本として、朝食をとる習慣づくりを家庭と連携して行う必要がある。(ただし、この結果はH26の取組みによるもので、H27の取組みの成果はH28の結果を待たねばならない)

○学校の活動について、保護者や地域に対して前年度以上に発信してきたが、保護者の声などから、十分に伝わっているとは言えない部分もある。Web発信のみにたよらない情報発信の方法を再検討し、効果的に伝えられるような工夫が必要である。

○地域コーディネーターを中心に、学校ボランティア活動を進めているが、地域から学校に対する関心度があまり高くななくボランティア希望者数が増えない。地域の方が参加しやすい活動を工夫したり、活動内容の発信を今以上に進める必要がある。大学との連携により学生ボランティアを招くことも方策の一つとして検討が必要。

○全国学習状況調査の結果において、「みんなで協力してやりとげること」に肯定的な回答が、全国平均より10ポイント以上回っている。行事を通しての集団育成を図るという自校の取組みの成果が表れている。(ただし、この結果はH26の取組みによるもので、H27の取組みの成果はH28の結果を待たねばならない)

<2ページに続く>

中期目標

【視点 学力の向上】

○平成29年度の全国学力・状況調査における教科の各項目の平均正答率を平成24年度より5ポイント向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○平成29年度の全国学力・状況調査における生徒質問紙調査の各教科の「授業内容はよく分かる」と回答する生徒の割合を平成24年度より10ポイント向上させる。

(カリキュラム、学校サポート改革関連)

○平成28年度末の校内生徒アンケートにおいて「自ら進んで学習することが多い」と回答する生徒の割合を平成25年度からの3年間で10ポイント向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○平成29年度の全国学力・状況調査における生徒質問紙調査の「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しい」と回答する生徒の割合を平成24年度より5ポイント減少させる。

(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

○平成29年度の全国学力・状況調査における生徒質問紙調査の「学校のきまり・規則を守っている」と回答する生徒の割合を75%以上にする。

(マネジメント改革関連)

○平成29年度の全国学力・状況調査における生徒質問紙調査の「自分にはよいところがあると思う」という質問に対して「当てはまる」の回答率を平成24年度より10ポイント向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○平成29年度の全国学力・状況調査における生徒質問紙調査の「人の役にたつ人間になりたいと思う」と回答する生徒の割合を75%以上にする。

(カリキュラム改革関連)

○平成28年度末の校内生徒アンケートにおいて「命や人権の尊さについて考えたことがある」と回答する生徒の割合を、平成25年度からの4年間で10ポイント向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○平成28年度末の校内生徒アンケートにおいて「大阪の歴史・文化・伝統に興味がある」と回答する生徒の割合を、平成26年度からの3年間で5ポイント向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○平成28年度末の校内生徒アンケートにおいて「本物に触れることのできる芸術(演劇や古典芸能や音楽)鑑賞に興味がある」と回答する生徒の割合を、平成26年度からの3年間で10ポイント向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○平成28年度末の校内生徒アンケートにおいて「校内に緑や芸術作品が豊富にあり心が豊かになる」と回答する生徒の割合を、平成26年度からの3年間で10ポイント向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○平成28年度末の校内生徒アンケートにおいて「学校に来ることは楽しい」と回答する生徒の割合を、28年度当初より5ポイント以上向上させる。

(カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

○平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点を平成24年度より5ポイント向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○平成29年度の全国学力・状況調査における生徒質問紙調査の「朝食を食べている」という質問に対して「食べてない」と「あまり食べていない」とをあわせた回答率を10%以下にする。

(カリキュラム改革関連)

○平成28年度末の校内生徒アンケートにおいて「自分の体力や健康について考えることが多い」と回答する生徒の割合を、平成25年度からの4年間で90%以上にする。

(カリキュラム改革関連)

【視点 保護者・地域に開かれた学校づくり】

○教育活動の取り組みを紹介するとともに、成果を評価し課題を分析した上で結果を学校ホームページ等で公表し、地域や保護者へのアンケートで学校が説明責任を果たしていると答える割合を、平成25年度より10ポイント以上向上させる。

(ガバナンス改革関連)

2. 中期目標の達成に向けた年度目標(平成28年度)最終年度

【視点 学力の向上】

○各教科の定期テストにおける無解答率を年度当初より5ポイント以上減少させる。

(カリキュラム改革関連)

○校内生徒アンケートにおいて、各教科の「授業内容はよく分かる」と解答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。

(カリキュラム、学校サポート改革関連)

○校内生徒アンケートにおいて「自ら進んで学習することが多い」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○校内生徒アンケートにおいて、「本読むのは好きだ」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○校内生徒アンケートにおいて、各教科などの「授業で、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりする機会がある」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。

(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

○校内生徒アンケートにおいて「学校のきまり・規則を守っている」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。

(マネジメント改革関連)

○校内生徒アンケートにおいて「自分にはよいところがあると思う」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○校内生徒アンケートにおいて「人の役にたつ人間になりたいと思う」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○校内生徒アンケートにおいて「命や人権の尊さについて考えたことがある」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○校内生徒アンケートにおいて「大阪の歴史・文化・伝統に興味がある」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○校内生徒アンケートにおいて「本物に触れることのできる芸術(演劇や古典芸能や音楽)鑑賞に興味がある」と回答する生徒の割合を、年度当初より5ポイント向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○校内生徒アンケートにおいて「校内に緑や芸術作品が豊富にあり心が豊かになる」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○校内生徒アンケートにおいて「学校に来ることは楽しい」と回答する生徒の割合を、年度当初5ポイント以上向上させる。

(カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

○校内生徒アンケートにおいて「運動することは好きだ」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○校内生徒アンケートにおいて「朝食を食べることは大切だ」と回答する生徒の割合を年度当初より5%以上向上させる。

(カリキュラム改革関連)

○校内生徒アンケートにおいて「自分の体力や健康について考えることが多い」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。

(カリキュラム改革関連)

【視点 保護者・地域に開かれた学校づくり】

○教育活動の取組を紹介するとともに、成果を評価し課題を分析した上で結果を学校ホームページ等で公表し、
地域や保護者へのアンケートで「学校が情報発信を積極的に行っている」と答える割合を年度当初より5ポイント
以上向上させる。
(ガバナンス改革関連)

○地域や保護者へのアンケートで、学校は地域連携や学校ボラティア活動の取り組みを積極的に進めていると、
回答する割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。
(ガバナンス改革関連)

3. 本年度の自己評価結果の総括(平成28年度)

【視点 学力の向上】

【視点 道徳心・社会性の育成】

【視点 健康・体力の保持増進】

【視点 保護者・地域に開かれた学校づくり】

平成28年度 大阪市立長吉六反中学校 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

年度目標	進捗状況	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>各教科の定期テストにおける無解答率を平成27年度当初より5ポイント以上減少させる。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p> <p>校内生徒アンケートにおいて、各教科の「授業内容はよく分かる」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム、学校サポート改革関連)</p> <p>校内生徒アンケートにおいて「自ら進んで学習することが多い」と回答する生徒の割合を平成26年度当初から5ポイント以上向上させる。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p> <p>校内生徒アンケートにおいて、「本読むのは好きだ」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p> <p>校内生徒アンケートにおいて、各教科などの「授業で、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりする機会がある」と解答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>	3	

【評価基準】 4:目標を上回って達成できている

3:目標を概ね達成できている

2:目標を下回っている

1:目標を大きく下回っている

(各教科)

国語

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況	達成状況
取組内容①【区分 各教科、国語】読解力、文章表現力の定着を図るために、学習指導の工夫をする。(カリキュラム改革関連)	3	
指標 全学年でTT授業を実施する。		
取組内容②【区分 各教科、国語】学習内容の理解を深めさせるために、プリント類や補助教材を利用する。(カリキュラム改革関連)	3	
指標 プリント類や補助教材を用いた授業を全授業の60%以上行う。		
取組内容③【区分 各教科、国語】漢字の読み書きは、プリントや補助教材で反復練習し、定着を図るよう努める。(カリキュラム改革関連)	3	
指標 課題について定期的に点検・テストを行い提出率を80%以上にする。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
<ul style="list-style-type: none"> ・全学年でTT授業を実施し、習熟度別授業も行った。 ・プリント類や副教材を用いた授業を行い、理解の深化に努めた。 ・定期的に点検・テストをおこない提出率の向上に努めた。 ・これまで作文を書かせる機会が少なかったため、授業内で自分の考えを書かせる機会を増やし、夏季休暇中、読書 感想文を課題として取り組ませた。 		
今後への具体的な改善点		
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見や考えをもちそれを文章としてまとめる(「書くこと」)。それを伝える(小論文やスピーチを通して)力(「話す 聞くこと」)を身に着けていけるような取り組みを増やしていきたい。 		

【評価基準】 4:目標を上回って達成できている
2:目標を下回っている

3:目標を概ね達成できている
1:目標を大きく下回っている

社 会

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況	達成状況
取組内容①【区分 各教科、社会】基礎的・基本的な学習内容の定着を図るために、確認学習の工夫に努める。(カリキュラム改革関連)		2	
指標 学習内容の復習プリントを、各単元ごとに作成する。			
取組内容②【区分 各教科、社会】生徒の興味・関心を高め、学習内容の理解をすすめるため、教材の工夫に努める。(カリキュラム改革関連)		3	
指標 分野ごとに学習内容に関連する社会的事項及び出来事を提供する。			
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
<p>*地歴並行学習を行っている1年生では、それぞれの時間にもう一方の分野の学習事項を意識的に取り込むことで、地理・歴史の関連性を深めることに努めた。</p> <p>*各学年ともに授業やテストでは、日々の出来事・ニュース等を取り上げることで学習内容の理解・定着に努めた。</p>			
今後への具体的な改善点			
<p>*現時点での課題は、週1時間の歴史の授業において、前時の復習に費やす時間を短縮する工夫が必要なことである。</p>			

数 学

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況	達成状況
取組内容①【区分 各教科、数学】きめ細かい指導を通して、個別の学習を充実させ改善するよう努めたい。	(カリキュラム改革関連)	3	
指標 定期テストの知識理解を向上させる。			
取組内容②【区分 各教科、数学】授業を聞く習慣を身につけさせ、学力向上に努める。	(カリキュラム改革関連)	3	
指標 静かに授業を聞ける生徒の数を増やす。			
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
夏休みや、日頃のノート提出で個々のつまづきに対応し、前向きに取り組む生徒が増えた。			
今後への具体的な改善点			
引き続いて個々のつまずきの早期発見と個々対応の時間の確保に努めたい。			

【評価基準】 4:目標を上回って達成できている
2:目標を下回っている

3:目標を概ね達成できている
1:目標を大きく下回っている

理 科

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況	達成状況
取組内容①【区分 各教科、理科】学習意欲を育てる指導方法を工夫し、実践する。 (カリキュラム改革関連)			
指標 新しい科学の話題や身近な科学の話題を取り入れ、生徒に提供するとともに視聴覚機材、コンピュータ、電子黒板などを授業内で活用する。	3		
取組内容②【区分 各教科、理科】適切な補助教材を用意し、基礎学力の定着に努める。(カリキュラム改革関連)			
指標 小単元ごとに学力の定着を図るために小テストを行う。また、その結果をもとにひとりひとり違った課題を出すなどの、ひとりひとりの学力に応じた学習を行う。	2		
取組内容③【区分 各教科評理科】実験室の整備を行い、実験観察を積極的に取り入れる。(カリキュラム改革関連)			
指標 学習内容の定着のために効果的に実験観察を行うとともに、課題解決型の実験観察も取り入れる。	2		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲を持たせるため、興味を引く科学の話題を取り入れたり、学年によっては電子黒板を使用したりしていたがコンピューターを用いたシミュレーションなどを取り入れるとより効果があったように思う。 ・ひとりひとりの学習状況に応じた個への対応としては、復習問題を答え合わせするときに発言させ、その解答に応じた助言を行っている。その他の具体的な方法はなお模索中である。 ・教科書に掲載されている実験観察は多くを行っているが、その中に課題解決型という視点をもっと取り入れた方がより効果があるように感じた。 			
今後への具体的な改善点			
課題解決型の実験を検討し、実施していくと思う。			

音 樂

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況	達成状況
取組内容①【区分 各教科、音楽】生徒の興味関心を高める授業内容の工夫に努める。 (カリキュラム、学校サポート改革関連)			
指標 すべての単元にパワーポイントを取り入れ、視覚的にも音楽の充実を図る。	2		
取組内容②【区分 各教科、音楽】音楽を表現するための基礎的な技術を定着させる。 (カリキュラム改革関連)			
指標 毎時間、姿勢・発声・表情の充実を図る。	3		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
<ul style="list-style-type: none"> ・1年生では音符の小テストを毎時間行い、読譜の定着を図った。 ・各学年、合唱コンクールに向け基本的な歌唱の姿勢や、発声を心がけるように言葉掛けを行い、少しづつではあるが、成果が見られた生徒が出てきている。しかし、まだ無理な発声で歌唱する部分があるため、今後の課題として継続していきたい。 ・視覚教材を用いることで、授業の効率化は得られたが、具体的な技術習得につなげることがまだできていない。技術習得がひとりひとりできるように、今後言葉掛けや知識理解に努めていきたい。 			
今後への具体的な改善点			
グループ討議を設けたり、他人の実技を鑑賞し、自分の課題を見つめなおす。			

【評価基準】 4:目標を上回って達成できている
2:目標を下回っている

3:目標を概ね達成できている
1:目標を大きく下回っている

美術

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況	達成状況
取組内容①【区分 各教科、美術】作品内容を視覚的に理解をし興味関心を深める。 (カリキュラム改革関連)		2	
指標 すべての作品において参考作品を準備作成しイメージを高める。			
取組内容②【区分 各教科、美術】鑑賞指導の充実を図り、相互に作品を見る機会を増やす。(カリキュラム改革関連)		3	
指標 各作品に取り組む前に資料集の活用をする。多くの完成作品の掲示。			
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
・鑑賞教材としてアートカードを導入。ゲーム形式でアートカードを活用することで鑑賞体験へと導く。また新しいゲームをチームで創造されることにより新しいルールを作り出させ、実行してみる機会を設けた。鑑賞活動であるとともに社会性を育む学習活動をしていきたい。 タブレットを活用しその取り組み内容を発表させている。 ・作品内容を視覚的提示するための準備時間がとれず、イメージを高めるには至っていない。			
今後への具体的な改善点			
・視覚的に提示できる作品例の制作。			

保健体育

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況	達成状況
取組内容①【区分 各教科、保健体育】様々なスポーツ種目を体験させ、運動を実践していく能力や態度を養う。(カリキュラム改革関連)		3	
指標 年間、8種目以上の競技を経験させる。			
取組内容②【区分 各教科、保健体育】運動実践における健康・安全に留意する態度を養う。(カリキュラム改革関連)		3	
指標 毎時間、健康・安全についての情報提供をする。			
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
*タブレットを導入し、生徒自ら積極的に使用して取り組む展開ができた。今後も取り入れていく。 *体育委員を中心として行えている。また、班活動も充実させ、互いに技術の向上やケガ防止に繋がるような仲間づくりをする。 *体育と保健の授業の中で、健康や安全、将来の自分の体(命)についても考えられるようにしたい。			
今後への具体的な改善点			
今後も継続的に、タブレットの使用や体育委員を中心とした活動・班活動を行い、技術・体力の向上や安全に留意する態度などをさらに養っていきたい。			

【評価基準】 4:目標を上回って達成できている
2:目標を下回っている

3:目標を概ね達成できている
1:目標を大きく下回っている

技術・家庭

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況	達成状況
取組内容①【区分 各教科、技術家庭】生徒の興味・関心を高めるような指導法を工夫する。(カリキュラム改革関連)			
指標 ワークシートや復習プリントなどを作成し、授業内容の理解に努める。小テストを実施し知識理解をはかる。	3		
取組内容②【区分 各教科、技術家庭】2年生では少人数授業を行うなど、きめ細かな指導に取り組んでいく。(カリキュラム改革関連)	3		
指標 授業に参加している生徒の実習作品の完成率100%を目指す。			
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに授業プリントを作成し、プリントの点検後、小テストを実施し学力の定着に努めている。 ・少人数での授業により、特に実習ではきめ細かな指導が可能となり、技術の定着につながっている。また、必要に応じて補習を行なっている。 			
今後への具体的な改善点			
<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲を向上させる視覚教材の工夫。 			

英語

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況	達成状況
取組内容①【区分 各教科、英語】基本単語、基本表現を定着させ、低学力を克服する授業を目指す。(カリキュラム改革関連)	3		
指標 自主プリントを年間50枚程度作成し、学習内容の深化に努める。			
取組内容②【区分 各教科、英語】(*)C-NETの授業を通して異文化理解を深め、実践的コミュニケーション能力を高める。(グローバル化改革関連)	3		
指標 C-NETとの授業に全学年で取り組む。			
取組内容③【区分 各教科、英語】習熟度別授業、TTなどの授業を実践し、個に応じた学習を充実させる。(カリキュラム改革関連)	2		
指標 習熟度別授業、TTの授業を全学年合わせて年間300時間以上おこなう。			
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
<ul style="list-style-type: none"> ・自主作成プリントの活用や単語テストの継続的な実施により、生徒たちの取り組み意識は出てきているように感じる。ただ、定着には差があるため、より効果的に定着させる指導法を模索している。 ・C-NETとの授業は会話、筆記、聞き取りなど多くの分野を取り入れ、生徒たちのコミュニケーション力の向上をはかっている。生徒たちは積極的に発言している。 ・授業内習熟の形態がほとんどであり、完全分割は多くはできない。 			
今後への具体的な改善点			
<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別授業の効果的な進め方や使用教材について、取り組む。 			

(*) C-NET:大阪市外国人英語指導員(Osaka City Native English Teacher)

(その他)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況	達成状況
取組内容①【教育環境の整備】 学びサポーター、学習サポーター、特別支援教育サポーターなど可能な限りの、生徒の学習活動支援の制度を活用し、生徒の学習環境効果の向上を最大限に図る。 (カリキュラム改革、ガバナンス改革関連)			
指標 年度末の校内生徒アンケートにおいて「授業に多くの先生やサポーターが関わり、学習がしやすい」と回答する生徒の割合を年度当初より10%以上向上させる。	3		
取組内容③【言語力や論理的思考力の育成】 各学級に4社新聞を毎日1部ずつ配布し、朝読書の時間、休憩時間を利用して生徒が自由に読める環境を整備する。また、国語、総合的な学習の時間などを活用し、論説・コラムの書き写し、要約、小論文、ディベートなどを行う。これらの活動により、読む力、書く力、考える力、表現する力の育成を図る。 (カリキュラム改革関連)	1		
指標 校内生徒アンケートにおいて、各教科などの「授業で、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりする機会がある」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。			
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度当初より、3名の学習サポーターに来てもらい、生徒の学習活動支援が有効に活用し、生徒の学習環境効果の向上を図っている。 ○ 3学期(1, 2月)、各学級に4社の朝刊を配付し、自由に新聞を読める環境を整える。 			
今後への具体的な改善点			
①特別支援教育サポーターがさらに配置され、より生徒の学習活動支援が有効に活用し、生徒の学習環境効果の向上を図る。 ②各学年・各学級・各教科で、新聞を活用した取り組みを進めていく。			

年度目標	進捗状況	達成状況
【視点 道徳心、社会性の育成】 校内生徒アンケートにおいて「学校のきまり・規則を守っている」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。 (マネジメント改革関連)		
校内生徒アンケートにおいて「自分にはよいところがあると思う」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。 (カリキュラム改革関連)		
校内生徒アンケートにおいて「人の役にたつ人間になりたいと思う」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。 (カリキュラム改革関連)		
校内生徒アンケートにおいて「命や人権の尊さについて考えたことがある」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。 (カリキュラム改革関連)		
校内生徒アンケートにおいて「大阪の歴史・文化・伝統に興味がある」と回答する生徒の割合を、年度当初より5ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連)		3
校内生徒アンケートにおいて「本物に触れることのできる芸術(演劇や古典芸能や音楽)鑑賞に興味がある」と回答する生徒の割合を、年度当初より5ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連)		
校内生徒アンケートにおいて「校内に緑や芸術作品が豊富にあり心が豊かになる」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。 (カリキュラム改革関連)		
校内生徒アンケートにおいて「学校に来ることは楽しい」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。 (カリキュラム改革関連)		

【評価基準】 4:目標を上回って達成できている
2:目標を下回っている

3:目標を概ね達成できている
1:目標を大きく下回っている

(人権道徳)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況	達成状況
取組内容①【人権を尊重する教育の推進】人権教育にかかる様々な教材を活用し、人権教育の深化充実に努める。 指標 今年度の人権教育年間指導計画に従い、各学年で集中実践を行う。		2	
取組内容②【人権を尊重する教育の推進】学校の教育活動全体を通じて、他者を思いやる心や規範意識、社会的ルールなどの道徳教育に取り組む。 指標 今年度の道徳教育指導計画に基づき、道徳に関する実践を行う。	3		
取組内容③【人権を尊重する教育の推進】いじめや差別、偏見につながる問題を見過ごすことなく、その背景なども探しながら指導を進め、問題の解決を図るとともに、そこから学ぶ姿勢を持つ。 指標 「差別事象とその対応について」の資料を出し、全教職員の共通理解を図る。	3		
取組内容④【人権を尊重する教育の推進】年間指導計画を作成し、計画的に人権教育・道徳教育を進める。また、各学年と連携を密にして、実践の集約、情報交換を図り、総括し、次の取り組みに活かしていく。 指標 人権道徳委員会でさまざまな人権教育・道徳教育の取り組み内容の開発、発信、集約、総括を行う。	3		
取組内容⑤【人権を尊重する教育の推進】人権教育・道徳教育を推進するため、教職員が自らの人権感覚を高めることができるよう様々な機会を通して研修を行うとともに、こどもたちとともに学ぶ姿勢を持ち、人権感覚の向上を図る。 指標 各学年の取り組みの事前打ち合わせでの相互研修だけでなく、さまざまな形態での人権教育・道徳教育に関する研修を企画し、実施する。	2		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
人権教育年間指導計画に基づき、指導を進めていくよう努めたが、道徳の時間確保と各学年行事、学校行事の時間確保の中でなかなか実践を行なうことができていない学年もある。道徳教育については年間指導計画に基づき、各学年とも実践を進めている。			
今後への具体的な改善点			
課題としては、ひとりひとりの教職員が人権教育・道徳教育に関する知識やスキルを習得し、さらに人権に関する感性を磨き、日常の学校生活の中での何気ない出来事の中に潜む人権課題に気づくことができるよう、研修や啓発などを実施する必要がある。			

【評価基準】 4:目標を上回って達成できている
2:目標を下回っている

3:目標を概ね達成できている
1:目標を大きく下回っている

(性教育)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況	達成状況
取組内容①【人権を尊重する教育の推進】年間指導計画通り、学習を進める。 (マネジメント改革関連)		3	
指標 年間指導計画通り実施し、各学年代表との打ち合わせを毎学期2回以上行う。			
取組内容②【人権を尊重する教育の推進】分かりやすい教材を精選して、指導に努める。 (カリキュラム改革関連)		3	
指標 性教育委員会にて指導案を検討し、学年の状況に応じた取り組みを行う。			
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
年間指導計画に沿って、取り組みを進めている。1学期に3年生は実施、1・2年生は2学期に実施予定となっている。今年度は、虐待やデータDVが増加傾向にあることを踏まえて、その予防につながる内容を取り入れた。また、LGBTやHIVのテーマを取り扱うときには人権にも配慮するよう心掛けた。			
今後への具体的な改善点			
他学年の取り組みが共有できるように今年度の実践を取りまとめたい。アンケートのまとめなど、生徒の感想も共有できるようにしていきたい。			

(多文化共生教育)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況	達成状況
取組内容①【国際社会に生きる】自国の言語や文化に対する意識の向上を図る (カリキュラム改革関連)		2	
指標 言語や文化に対する研修を年間1回は行う。			
取組内容②【国際社会に生きる】民族講師を有効的に活用するとともに、教職員との交流の機会を持ち、多文化共生の研修とする。 (カリキュラム、学校サポート改革関連)		3	
指標 民族講師を中心とした年間5回以上の活動を行う。			
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
・2学期に民族料理会を行い、外国にルーツのある生徒を含め参加をうながした。しかし、韓国・朝鮮にルーツを持つ生徒の参加はいまだない。今後、どのように声をかけていくか、文化などに意識を持たせることができるか、課題である。			
今後への具体的な改善点			
様々な行事を告知・周知し、参加を促す。また、料理会や楽器等の文化に触れる講習を行う。			

【評価基準】 4:目標を上回って達成できている

2:目標を下回っている

3:目標を概ね達成できている

1:目標を大きく下回っている

(特別支援教育)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況	達成状況
取組内容①【特別支援活動の充実】基本的生活習慣の確立及び身辺自立への支援を行う。(カリキュラム改革関連)			
指標 特別支援教育委員会を毎月開催し、共通理解と支援方法を具体的に検討する。	3		
取組内容②【特別支援活動の充実】生徒一人一人に応じた学習の指導に努める。 (カリキュラム改革関連)	3		
指標 支援を必要とする個々の生徒全員に適切な指導や支援を行うため、個別の指導計画を作成する。	3		
取組内容③【特別支援活動の充実】交流学習を通して共に学びあい、理解を深め仲間意識を育てる。(カリキュラム改革関連)	3		
指標 個別の指導計画・支援計画を作成、学期ごとに更新し、適切な支援を行うために活用していく。	3		
取組内容④【進路指導】個に応じた適切な進路指導を行う。(カリキュラム改革関連)	3		
指標 連絡帳を使い、毎日保護者と連絡を行い、必要な場合は関係諸機関との連携を図る。			
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
在籍生徒一人一人、個に応じた支援や指導に努めている。また、行事等で交流を深めることにより仲間意識の大切さを意識させる。連絡帳を使い、保護者と連携を密に行ってている。また、毎月の会議で情報交換を行うことで、教職員に共通理解を図っている。			
今後への具体的な改善点			
今後も全教員と連携を取り、細かい情報交換等を行っていく。また、支援学校や関係諸機関等との連携も図れたらと考えている。			

【評価基準】 4:目標を上回って達成できている
2:目標を下回っている

3:目標を概ね達成できている
1:目標を大きく下回っている

(生活指導)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況	達成状況
取組内容①【規範意職の育成】周囲の状況に合わせ、自らの行動に責任を持てる指導に努める。(カリキュラム改革関連)		4	
指標 生徒集会で週に1回以上指導する。			
取組内容②【基本的な生活習慣の確立】きちんとしたあいさつや服装ができる指導に努める。(カリキュラム改革関連)		4	
指標 朝のあいさつ運動や登校指導を年間を通して行う。			
取組内容③【生活指導上の課題】教育相談などを通して、生徒理解に努める。 (カリキュラム改革関連)		3	
指標 教育相談週間を年3回以上行う。			
取組内容④【生活指導上の課題】学校の生活指導方針を保護者会・プリント配布などで年3回以上説明する。(ガバナンス改革関連)		4	
指標 学校の生活指導方針を保護者会・プリント配布などで年3回以上説明する。			
取組内容⑤【生活指導上の課題】学校全体、関係諸機関との連携を密にし、共通理解に努める。(ガバナンス改革関連)		3	
指標 毎月、諸機関との連絡を行いその内容を職員に周知する。			
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
校内は安定した状態を保っているが、学校の指導方針への不満をもらす保護者もいる。生徒にとって何が必要なのかを常に考え、保護者・地域の方々に理解してもらえるよう、学校として最善の策を練る。			
今後への具体的な改善点			
各学年間の連携をさらに深め、上記の点を補えるようにしていく。			

【評価基準】 4:目標を上回って達成できている
2:目標を下回っている

3:目標を概ね達成できている
1:目標を大きく下回っている

(総合的学習)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況	達成状況
取組内容①【組織運営】各委員会と連携して、生きる力の育成を目指し、学習計画を立てる。 (マネジメント改革関連)		3	
指標 週に1回主任会を持ち、取り組みの連絡調整をしていく。			
取組内容②【特別活動】パソコンや図書室の本を活用し、調べ学習を行う。 (カリキュラム改革関連)	3		
指標 調べ学習を行い、情報を収集・活用する力を育成する。			
取組内容③【人権を尊重する教育】行事への取り組みや多様な体験活動を通じて、自主的な態度を養い仲間づくりを進めていく。 (カリキュラム改革関連)	3		
指標 仲間づくりを意識した取り組みを各学年、学期に1回は実施する。			

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ① 定期的に主任会を持つことで、事前にさまざまのことについて、調整が行えている。
- ② 必要に応じて調べ学習を行っている。修学旅行の取り組みでもパソコンを活用した事前学習に取り組んだ。また、職場体験学習ではICT機器を活用し取り組み内容を発表した。
- ③ 各学年行事に人権教育の視点を入れながら取り組みを進めている。

今後への具体的な改善点

- ① 今後も、週に1回の主任会を実施していく。
- ② 今後も、調べ学習等でパソコンや本等を活用する。
- ③ 今後もさらに取組の進化充実を図る

(その他)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況	達成状況
取組内容①【その他】芸術(演劇、古典芸能、音楽等)鑑賞を通じて、本物の芸術に触れ生徒の感性を育む。本年は、民族楽器あるいは和楽器の演奏鑑賞や説明を聞き、異文化理解あるいは、わが国の伝統的な芸術について考えさせる取組みとする。 (カリキュラム改革)	3		
指標 校内生徒アンケートにおいて「本物に触れるこことできる芸術(演劇や古典芸能や音楽)鑑賞に興味がある」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。			
取組内容②【大阪らしさを活かした取組】大阪探検と称し、2年生全員で大阪にある特徴のある施設を回らせ、各施設の内容から、大阪の歴史、文化、伝統などを学ばせる。 (カリキュラム改革)	2		
指標 校内生徒アンケートにおいて「大阪の歴史・文化・伝統に興味がある」と回答する生徒の割合を、平成26年度当初より5ポイント以上向上させる。			
取組内容③【美化・環境整備】校内の畑を整備し、草花を植え育て緑化活動を進め、情操教育の深化に資する。また、育てた植物を教室に置くことにより、生徒の豊かな感性の醸成に資する。 (カリキュラム改革)	3		
指標 校内生徒アンケートにおいて「校内に緑や芸術作品が豊富にあり心が豊かになる」と回答する生徒の割合を、平成26年度当初より5ポイント以上向上させる。			
取組内容④【教育環境の整備】各フロアのエレベーターホールにベンチを設置し、生徒が広い空間で談話できる空間をつくる。生徒同士のみならず、教職員と生徒と対話スペースとしても活用する。同時設置する展示パネルをパーティションとすることにより、個人懇談スペースとすることもでき生徒理解の場として活用する。 (カリキュラム改革、ガバナンス改革関連)	1		
指標 •校内生徒アンケートにおいて、「学校に来るのが楽しい」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。 •校内生徒アンケートにおいて、「校内にくつろげるスペースがある」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。			
取組内容⑤【教育環境の整備】各フロアのエレベーターホール、行き止まりスペースに展示パネルを設置する。玄関、職員室前に展示ケースを設置する。廊下数か所に、ワイヤーレールを設置する。そこに、絵画レプリカ、生徒の美術作品(絵画・彫刻等)や書道作品、技術・家庭科の作品などを展示する。このことにより、校内空間をアートあふれる心和む空間を生み出し、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。 (カリキュラム改革関連、ガバナンス改革関連)	1		
指標 校内生徒アンケートにおいて「校内に緑や芸術作品が豊富にあり心が豊かになる」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。 校内生徒アンケートにおいて、「校内にくつろげるスペースがある」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。			
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
① 芸術鑑賞や平和の集い・人権学習において、人と人との関係や命の大切さについて学ばせた。 ② 大阪探検については、2月に実施予定である。 ③ 校内の畑で野菜やいもなどをつくったり、花壇で花を育てている。全校生徒に呼びかけ生徒の自主活動で園芸活動を行った。			
今後への具体的な改善点			
① さらに、人と人との関係や命の大切さについて考えさせる取り組みを進める。 ② 大阪探検については、2月に実施予定である。 ③ 校内の畑でさらに地域の農作物を育てている。 ④⑤ 3学期に、2階フロア展示スペースを設け、生徒の作品展示を進めていく。			

年度目標	進捗状況	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>校内生徒アンケートにおいて「運動することは好きだ」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p> <p>校内生徒アンケートにおいて「朝食を食べることは大切だ」と回答する生徒の割合を年度当初より5%以上向上させる。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p> <p>校内生徒アンケートにおいて「自分の体力や健康について考えることが多い」と回答する生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>		3

【評価基準】 4:目標を上回って達成できている
2:目標を下回っている

3:目標を概ね達成できている
1:目標を大きく下回っている

(健康教育)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況	達成状況
取組内容①【健康な生活習慣】 望ましい基本的生活習慣の確立に努める。 (マネジメント改革関連)		
指標 保健委員会を中心に、毎月ほけんだりを出すことによって、生徒自らが基本的生活習慣を見直せるようにする。	2	
取組内容②【健康な生活習慣】 教育的に健康診断等を実施し、適切な健康管理に努める。(カリキュラム改革関連)		
指標 個人に配慮した健康診断を実施し、適切な支援を行えるよう健診結果を活用する。	3	
取組内容③【環境整備】 校内環境を美しく整備する。(カリキュラム改革関連)		
指標 美化委員会を中心に、全校生徒の意識向上につながる取り組みとしてポスターを毎学期作成して校内に掲示する。	3	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

①【健康的な生活習慣】

保健室対応が増えているので、個別の保健指導は行えているが、全体指導が実施できていない。

②【健康な生活習慣】

今年度から導入された運動器検診は円滑に実施できた。肥満度の高い生徒には個別指導を実施し、検診結果を健康管理に活用できるようにする。

③【環境整備】

計画どおり、取り組みを進めている。

今後への具体的な改善点

①保健室前の掲示板を活用したい。

②今年度の結果を次年度の学校保健計画に反映させ、本校の健康課題に具体的に取り組めるようにしたい。

③今後も同様の取り組みを進めていく

年度目標	進捗状況	達成状況
<p>【視点 保護者・地域に開かれた学校づくり】</p> <p>教育活動の取組を紹介するとともに、成果を評価し課題を分析した上で結果を学校ホームページ等で公表し、地域や保護者へのアンケートで学校が説明責任を果たしていると答える割合を、年度当初より5ポイント以上向上させる。</p> <p style="text-align: right;">(ガバナンス改革関連)</p> <p>地域や保護者へのアンケートで、学校は地域連携や学校ボランティア活動の取り組みを積極的に進めていると回答する割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。</p> <p style="text-align: right;">(ガバナンス改革関連)</p>		3

【評価基準】 4: 目標を上回って達成できている
2: 目標を下回っている

3: 目標を概ね達成できている
1: 目標を大きく下回っている

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況	達成状況
取組内容①【その他】学校ホームページで現状を公開し地域、保護者への情報発信をおこなう。 (ガバナンス改革関連)	3	
指標 ホームページの更新を週1回以上おこなう。		
取組内容②【その他】学校ボランティアの図書解放をスムーズに行うため、図書の管理をしやすくする。 (ガバナンス改革関連)		
指標 図書館の開館日数を 年100以上行う。	3	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
<p>① 学校の活動を定期的に発信している。少しずつではあるが、ホームページの閲覧数も増えている。特に体育大会等はかなり増えている。</p> <p>② 学校元気アップ事業や委員会活動、図書館支援員、ボランティアによる図書の開館を行っている。</p>		
今後への具体的な改善点		
<p>① 保護者・地域が興味を持つように工夫し、積極的に情報発信を行う。</p> <p>② 学校元気アップ事業や委員会活動、図書館支援員、ボランティアによる図書の開館および貸出をさらに進めている。</p>		